



2023年9月28日

各位

会社名 株式会社 パルマ  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 秀長  
(コード: 3461 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理部長 赤羽 秀行  
電話番号 03 - 3234 - 0358

## 2023年9月期 通期業績予想修正および配当予想に関するお知らせ

2022年11月11日に公表しておりました2023年9月期(2022年10月1日~2023年9月30日)の通期業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

### 1. 通期個別業績予想の修正について

#### (1) 2023年9月期通期個別業績予想の修正(2022年10月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,097	百万円 174	百万円 150	百万円 90	円 銭 13.33
修正予想(B)	2,352	148	153	92	13.62
増減額(B-A)	△ 1,745	△ 26	3	2	
増減率(%)	△ 42.5	△ 14.9	2.0	2.2	
(ご参考) 前年実績 (2022年9月期)	2,778	7	1	29	4.43

#### (2) 修正の理由

2023年9月期通期業績予想につきまして、当社を取り巻く環境といたしましては、コロナ禍による個人消費の抑制は緩和されつつも、ロシア・ウクライナ情勢の膠着がもたらす政情不安の影響が解消されず、依然として厳しい情勢が持続するものと予想しております。

2022年度の収納ビジネスの市場規模は、836.7億円(前期比3.9%増)が見込まれる(矢野経済研究所「拡大する収納ビジネスの徹底調査 2023」より引用)など、新規拠点の着実な拡大に加えオンラインでの情報発信の拡充等により収納サービスの認知度向上が進展しております。

これらの事業環境を背景に、ビジネスソリューションサービスにおいては賃料債務保証付きBPOサービスやWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の受託が伸長、主力サービスの賃料債務保証付きBPOサービス受託残高は前期末比20%超増の12万室を超え、新規受託件数も前期比約53%増の49,000件を見込んでおり、ビジネスソリューションサービスは売上高・事業利益ともに期初の計画水準を計上できる見通しです。

ターンキーソリューションサービスは、土地・建設コストの高止まり傾向が続く中で「土地取得⇒開発」プロジェクトだけでなく、借地を活用するテナ収納物件の開発・投資も推進、昨年提携のストアハブグループや顧客事業者・投資会社向けにセルフストレージ施設の開発販売や物件紹介、テナ収納物件の投資・再販などを進めてまいりました。

賃貸運営面では、集客オペレーション・広告宣伝手法の継続的な見直し等により運営施設の稼働が向上、賃料収入が増加するなど賃貸収支が改善しております。ターンキーソリューションサービスは、期初の計画において想定していた取引規模からダウンサイジングとなったことにより売上高・事業利益は計画を下回ることとなりました。

これらの結果、通期の売上高・営業利益が期初の予想を下回る見込みです。

一方で、資金調達・運用収支の抑制・改善により経常利益及び当期純利益については期初の計画水準を計上できる見通しです。

## 2. 配当予想について

当期の期末配当予想については、前項の業績予想の修正を踏まえ、2022年11月11日公表のとおり1株あたり4円を見込んでおります。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上